

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

<先週の説教から>

『教育週間合同礼拝 ー

らくだがはりのあなをとる』

武田真治牧師

マルコによる福音書 10:17-27

*当日は、礼拝に出席してくれていた子どもたちに特別出演をして頂いて、最初に演劇による聖書箇所再現をしてもらった上で、みなさんにお話をしました。

イエス様に“質問”があって、近づいて来たその人物は、①お金持ちであり、②若者であり(=マタイ)、③議員さん(=ルカ)でもありました。おそらく裕福な家に生まれたのでしょう。また、その環境に甘えることなく自分でも努力してがんばっていたからこそ、今の国会議員のような立場にもなれたのでしょう。そのような人なら傲慢になりそうですが、彼はイエス様の前に来て「ひざまずいて尋ね」ています。礼儀や謙遜さも身に付けていたことがわかります。まさに“何でも持っていた”人でした。お金も地位も教養もさらには若ささえも十分に持っていた人物でした。でも、その人がまだ持っていないものがあつたのでした。それがここで質問している「永遠の命を受け継ぐためには、何をすればよいでしょうか」でした。

ここでの「永遠の命」とは、宗教的な命のことで、歳を取っても枯渇しない“霊的な活力”と考えられます。それを「受け継ぐ」ということは、イエス様のお弟子さんになって、イエス様から受け継ごうという思いが込められています。それはちょうど彼の両親からたくさんの財産を受け継いだように！

そのような彼を見て、イエス様は「あなたに欠けているものが一つある。行って持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。それから、わたしに従いなさい。」と教えられました。これは“捨てる”ということをしなくてはイエス様のお弟子さんにはなれないという意味です。多くの物を手にしていたのに、更に永遠の命まで手にしようとしていた彼に対して、両手がふさがっている、更に新しいものを手にすることはできない、手の中にある何かを“捨てる=手放す”ことをして、はじめて新しいものを得られると教えられたのでした。この言葉

を聞いた若者は「悲しみながら立ち去った。たくさんの財産を持っていたから」という結末を迎えました。イエス様は「彼を見つめて、慈しんで言われた」のですから、きっとまた様々な経験を経て戻って来ることを確信しておられたと思います。

その上で、弟子たちに「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい」と言われました。弟子たちは「それでは誰が救われるのだろう」と互いに言ったとあります。お金を全く持たない人などいないからです。その考えを見抜かれてイエス様は「人間にできることではないが、神にはできる」と教えられました。これは、お金や自分の力だけでは絶対に“神の国”に入れないということを知りなさいと、そして“イエス様に従う”ことで神の国への道が開けるからと！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 10月25日(水) 20:00
II. 10月26日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: 宗教改革記念日 教会・幼稚園バザーを覚えて
担当者: (水) 松田 (木) 長村
祈りに覚える人: 曾我さん 高橋さん
*ひつじ雲の会 10月24日(火) 13:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男14 女49 計63
祈祷会 I. 男5 女3 計8 II. 男2 女8 計10
日曜学校 幼稚科8 小中科14 計22

【次週礼拝】 10月29日(日)

聖書: 詩編 37:18~40
ヨハネの黙示録 21:1~8

説教: 「詩編37B ー 地を継ぐ者へと」

武田真治牧師

讃美歌: 378(1)、32、聖歌隊124、377(1~4)、579(1~4)、27(1)

【次週当番表】

司式: 保坂長老 奏楽: 中村 礼拝: 坂田長老
献金: 西尾 受付: 東 佐々
会堂準備: 阿部 伊藤 伊東 岩井
岩井

看板: 岩佐 週報: 吉岡 お花:

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・お茶の会 ・信徒セミナー ・聖歌隊練習

2023年 10月 22日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>